

朝鮮半島の地政学と金正恩体制の行方

ダイコー取締役、元陸将 福山 隆
ふくやま たかし

- * 朝鮮半島の地政学10則
- * 中ロと日本を隔てる二重の絶縁体
- * アメリカが日本を手放さない訳
- * 領土紛争を大歓迎するアメリカ
- * ユーラシア外縁のリンケージ
- * 拡大する中国の勢力圏
- * 北朝鮮は「第二のチベット」に？
- * 金正恩政権の国家戦略と対外姿勢
- * 金正恩を倒す者―保身の策とは？
- * 「10年後の北朝鮮」大胆予測



浅野 それでは開会いたします。（拍手）今日は異色の講師、福山隆さんにおいていただきました。2カ月ほど前にお願いたしましたときに、北朝鮮によるミサイル発射を予想したわけでももちろんありませんけれども、タイミングとしてはよくありませんね。朝鮮半島をめぐる問題は常にウオッチしなければいけないことで、この問題について福山さんは最適の講師の一人と思ってお願いしました。

私が最初に読んだ福山さんの本は『北朝鮮が震える日』でしたが、これはとてもいい本でしたので『週刊東洋経済』とか経済倶楽部の講演録でご紹介しました。その後、『防衛駐在官という任務』という本も出されて、これもとてもよかったです。こちらもだいたい褒めた記憶があり

ます。今日はこれらを版元の方が来られて販売しておりますので、もし講演がよろしかったら（笑）お買い求めください。

福山さんは自衛隊では情報の仕事を主にされておられて、特に朝鮮半島を中心にインテリジェンスの仕事に長くかかわっておられますので、学者的な見方とはちょっと違った、あるいはメディアともかなり違ったユニークなお話を期待していただいていると思います。それでは福山さん、よろしくお願いします。（拍手）

福山 ただいまご紹介いただきました福山です。今日は経済倶楽部という、いちばんランクの高い、レベルの高いところに私のような者がしゃしゃり出るといふことは、いささか気がひけるんですけれども、勇気を出して私の素朴な